



直川地区公民館



カヌー教室 (犬飼公民館)



通学合宿 (直川地区公民館)



若船大学 (高齢者学級) (犬飼公民館)

佐伯市 直川地区公民館

直川地区公民館は、市の中央を流れる一級河川（番匠川）の上流部にあり、昭和五十七年七月の開館以来、地域住民の生涯学習・町おこしの拠点として大いに活用されています。

特色ある取組としては、平成十三年度から実施している通学合宿事業で、公民館が中心となって学校、家庭、地域が協力・連携して六泊七日の長期宿泊生活を支えています。

また、今年度から始まった学校支援地域本部事業として校区コーディネーターが配置され、学校支援を行う校区ネットワーク会議を公民館で立ち上げ、地域ぐるみで子どもたちを守り育てていく活動を行っています。

今回の優良公民館表彰受賞を期に、学校・家庭・地域住民による教育の協働をより一層推進し、青少年の健全育成を支える仕組み作り積極的に取り組んでいきたいと思えます。

輝く…文部科学大臣表彰

豊後大野市 犬飼公民館

「第六十一回優良公民館表彰式」が十月二十八日（火）皇居と東海大学校友会館で開かれ、犬飼公民館が表彰を受けました。

この表彰は、社会教育の中核施設である公民館活動の充実・振興を図るため、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設を優良公民館として文部科学大臣が表彰するものです。

犬飼公民館では、地域住民に対する多様な学習機会の提供に努めるとともに公民館利用者や公民館職員で連絡会を組織し、公民館運営の充実方策等を検討する定例会の開催や公民館で実施する各講座合同による学習成果発表会の企画・運営など、地域に根ざし、地域住民と共に歩む公民館運営が高く評価されたものです。



# 就任あいさつ

大分県公民館連合会  
副会長 長野 英治



この度の総会により、甲斐裕一副会長の後任として副会長に就任いたしました臼杵市中央公民館長の長野です。一年間の残任期間ではありますが、時枝会長を誠心誠意支えていきたいと思っておりますので、今後とも皆様方の絶大なるご協力をよろしくお願いいたします。

昨今の公民館を取り巻く情勢は地域社会の絆の希薄化など大変厳しいものがありますが、こういう時こそ公民館職員が一丸となつて公民館活動に取り組む必要があると思います。是非、皆様方の力量を発揮していただきたいと思います。言うまでもなく、公民館は地域の拠点であり、そういう中で地域の特色ある公民館活動の取組は地域づくりのうえでも大変重要と考えます。幼児から高齢者まで幅広い中での取組がありますが、既成の概念にとらわれることなく新しい発想により公民館活動を活性化していただき、地域住民の付託にこたえるすばらしい公民館にしようではありませんか。公民館に集結する皆様方の今後の活動に期待申し上げ、今後とも、皆様方がご健勝でありますようお祈りし、就任のごあいさつといたします。

## 公民館って

きらきら公民館人  
こうみんがんにして

# 楽しい

由布市挾間公民館  
主幹 首藤 康志



しれ〜と本当にその時思った。

三十九歳の時、そして昨年四十八歳で三度目の公民館勤務。主幹・係長・主幹と役職が変わり、若い時のような無茶はしなくなつたなど寂しく感じているが、何か楽しい事は無いかと頭を働かせている。

施設の規模や周りの環境により、公民館の役割は変わるが、利用者から良い公民館と感じてもらふのは、そこに勤務する私たち職員がどんな気持ちで仕事に取り組むかだと思ふ。

公民館勤務が十三年目となつた。最初の勤務は二十九歳の時で、それまでは「公民館って遊び（スポーツ他）が仕事？いいな。」程度の認識だった。

人口一万五千人程度の町公民館であり、公民館・社会教育・社会体育の業務を皆でこなしていた。最初の数年で学んだ事は、公民館は何をしてもいいのだ、目的さえ間違わなければ、自分で考えて計画・実行できる。「おも

# 「九州は今!!」

第五十九回

## 九州地区公民館研究大会宮崎大会

平成二十年八月二十八日（木）〜二十九日（金）、九州地区公民館研究会が、宮崎市にて開催された。大会一日目は、七分科会で研究討議、二日目は、全体会が行われた。

大分県からは、第一分科会「青少年教育」の発表者として日田市日隈公民館の杉山真弓館長が、学社連携事業の取組についての実践発表を行った。この大会では、九州の各地域から公民館関係者千八百人が参加し、「地域に学び、地域を結ぶ公民館の在り方」のテーマのもと、熱心な研究協議が行われた。

### 参加者の声

豊後大野市朝地公民館

副主幹 野中 浩一



「公民館」とは、集い交流する地域の公的な場、様々なニーズへの学習・相談・情報交換の場など、様々な機能を持つ「拠点」としてのイメージが強い。

ライフスタイルの変化、自治体経営方針など、公民館のあり方が変わろうとしている。公立公民館、自治公民館等、様々な運営形態はあるが、地域住民の「拠点」であることに変わりはない。新しい風が吹く中、本来の機能を損なうことなく受け継がれるよう、互いの学習・情報交換が益々必要な時期だと感じた。

九重町中央公民館

グループリーダー 武石 勝利



九重町では、現在、教育的資源・情報を収集し地域づくりに

公民館の活性化をめざしている。そうした中、九州地区公民館研究大会第二分科会の家庭教育を希望して参加した。テーマは家庭教育の教育力の向上を支援する公民館活動のあり方であった。いずれの事例発表も行政区を単位とした自治公民館の活動として、地域の人が、ふれあいの場づくりに積極的に参加、伝統的な地域行事や活動の継承を行っている。課題として自治公民館の加入率が下がった、父親の参加が少ないなどの発表であった。全体会では、東国原知事が「県民総力戦による新たな地域づくり」と題して、地域が一つに連携が取れば多くのことができるなどの記念講演があった。どの地域も公民館の活性化の必要性を考え頑張っている姿に接することができ、今後の公民館活性化に向け、時代の要請や変化に応える事業の見直しなどを、あらためて考えるよい機会となった。



東国原 英夫

全体会の東国原県知事の講演では、「地域の力の結びつきが子どもたちを育てる大きなポイントであり、そこに公民館の役割がある」と、話されていた。



大会旗引継ぎ

### 発表者の声

「他県の方々の意見や感想を聴くことで、子どもを持つ親の世代と地域、学校との結びつきの必要性和公民館事業の関わり的重要性を再確認できました。」



左側から 時枝県公連会長、杉山館長、榎本県生涯学習課主任社会教育主事（助言者）



# 地区公連発

## 県内各地区公連の活動紹介

今回は、大分地区（大分・臼杵・津久見・由布）と佐伯地区（佐伯）です

大分地区公民館連合会は、大分市・臼杵市・津久見市・由布市の公民館・社会教育関係職員等で組織し、事務局は、現在、津久見市が受け持っている。

主な活動としては、年二回、研修会を実施しており、地域の拠点としての公民館のあり方について研究協議を行うと同時に、公民館事業に関する情報交換を実施しており、十九年度は、二回の研修会を開催した。第一回目は、馬場尚登氏（県生涯学習課社会教育主事）より「大分発」協

### 大分地区公民館連合会 地域社会の ネットワークの拠点となる 公民館を目指して



育「ネットワークシステム」その必要性と構築方法」と題して、ご講話いただいた。第二回目は、辻野功氏（別府大学教授）の講演「外から見た大分の魅力」と三つの分科会（高齢者・青少年・人権教育）に分かれて四市の取組と課題等を報告してもらい、参加者で意見交換するなど有意義な研修ができた。

現在、市町村合併に加え行財政改革が進み、各市とも公民館の運営や事業の見直しなど、新たな対応が求められており、今年度も来年二月、そうした課題解決に向けた研修会を計画している。

大分地区公民館連合会  
事務局長 山下 俊雄



佐伯地区公民館連合会では、各地区公民館が、住民のニーズに合った活発な活動を成せるよう、地域の拠点としての役割を果たすために、毎月旧佐伯市内十地区館長と旧南海部郡八地区館長の会議を開催し意見交換をしている。事業の計画・内容の検討や実施後の評価など、取組に対しての反省点などを議題にしている。

また、各振興局（旧町村）公民館事業の担当者会議も同様に実施しており、連携を図りながら、協力体制の確立に努めている。



### 佐伯地区公民館連合会 協力体制の確立と 活力ある取組の継続

合併後、活動は限られた人員と予算の中で行われており、これまで以上に地域住民とのつながりを深め、効果的な事業を工夫しながら進めなければならぬと痛切に感じている。公民館事業を円滑に推進していくためにも「つながり」を大切にしながら、地域ごとに特色ある事業を絶やすことなく、市全体で活力ある取組を継続していきたい。

佐伯地区公民館連合会  
会長 川原 弘嗣



### 大分県公民館長・主事研修会



研修会の様子

六月十八日（十九日）教育の協働の推進役として公民館に求められる役割に関する講義や、企画力と広報力を高める講義、演習など、二日間にわたって熱心な研究協議が行われました。

### 大分県公民館新任職員研修会



レクリエーション（グループに分かれてパズルを組み合わせる）

七月二日 講義や実習などを通して、公民館運営に必要な基礎的・実践的な知識や技術を学ぶとともに、仲間づくりもでき、和やかな中にも熱のこもった研修会となりました。

#### 第五十九回

### 大分県公民館研究大会

十月二十七日

### 玖珠町中央公民館

吉野弥也子

十月二十七日に開かれた研究大会は日程を一日に短縮した中で行われたが前回同様四つの分科会があった。

また、基調講演の牟田静香氏の「住民ニーズにこたえる公民館運営と広報戦略」は公民館講座に人が集まらない理由を様々な角度から解説していた。



牟田静香氏による基調講演



分科会での研究協議

日田地区公連では開催地として県公連事務局との話し合い二回、地区公連役員会一回を開催し準備を進めてきた。本大会をきっかけにして、大会準備や運営に地区として一体となって取り組むことが出来た。

### 新任職員のみなさまから一言

#### 宇佐市駅前公民館

奥城 和海



公民館連合会に参加して、各公民館が地域の特色を生かして取り組んでいる姿を学ぶことができた。これからの公民館の果たす役割として、今日的な社会事情を見据えた環境づくりは大事であり、今日の青少年育成に努める上で、地域・家庭・学校をつなぐ一体化の取組は、一層、重要と考える。子どもを含め、多くの市民の生き方を創造する拠点になるよう努力していきたい。

#### 別府市西部地区公民館

首藤 裕久



「公民館職員に求められることは、学校と家庭、地域を結びつけるコーディネート」



#### 津久見市公民館

黒枝知恵美

今年の四月、公民館に配属された。そして、新任職員研修会に参加して、仕事の大切さや楽しさ等を学んだ。さらに、実際に仕事に携わっていると、公民館を利用している人は「みんな生き生きして元気がいいなあ。きつと人と人との交流が心も身体も元気にしているんだ。」と思った。

今後ふれあいと交流を育む公民館を目指し、頑張っていきたい。

#### 佐伯市宇目地域振興・教育課

和哥山忠明



今年度四月から、職員になって十五年目にして初めて教育委員会（宇目地区公民館）の業務に携わるようになった。最初は、右も左もわからず困惑したが、今では社会教育の多様さと奥深さを知り、この仕事の難しさを痛感している。生涯学習に携わるようになり、多くの子どもや高齢者と知り合う機会が増え、この多くの出会いが仕事の励みとなり、また、力となっている。先輩曰く、「社会



#### 豊後大野市中央公民館

渡部 美絵

四月の異動で公民館に来て七ヶ月。公民館でいつも感じる「笑顔」「元気」「仲間」「心の豊かさ」。私自身、市民のみなさんや職場の仲間毎日たくさん笑顔と元気をもらっている。楽しいことや悲しいこと、色々あるけれど全部ひっくるめて「人間」。生涯学習は、そんな「人間」の生涯に関わる、とてもやりがいのある仕事だと実感している。私も一緒に「生涯学習」しながら頑張ります。 Yes, we can!!

#### 日田市天瀬公民館

中野 智美



四月から公民館で働き始めて、一番大切に行っているのは「町の人々を知る」ことだ。公民館にやってくる人々だけで話し、時には公民館を飛び出し「こんにちは、四月から天瀬公民館でお世話になっている中野智美です。」と話しかけ、できるだけ多くの出会いを大切にしたいと考えている。まちの人々の声を生かした公民館を作っていきたいと思う。



### 白杵市田野地区公民館 地域みんな 公民館活動

初夏には、大分県職員吹奏楽団を招き地区音楽祭を開催しており、最後には

田野地区公民館は、幼稚園や小学校などに囲まれた環境の良い場所にある。本館では放課後児童クラブがあり園児・児童が夕方まで利用し大変にぎやかである。事業を実施するときは、地区振興会と小学校、公民館が協議を重ね、き



ふるさとまつり神楽

全員で大合唱し心豊かなひとときを過ごしている。秋の敬老会では、地区の高齢者を招待して、歌や踊り、児童クラブの出し物など毎年趣向をこらしており、地区女性部が心を込めて作った弁当は、大変評判が良く楽しみにしてくれている。秋には、ふるさとふれあい祭りを実施しており、幼児からお年寄りまで約四百人が参加し、ゲートボール大会やミニ運動会、公民館生きがい教室の発表会、高校生の神楽などを披露して楽しんでいる。田野地区公民館は、「地域みんなで公民館活動」と取り組んでいる。

白杵市田野地区公民館

吐合 正



地区音楽祭

### 豊後高田市香々地公民館 参加しやすい 生活に密着した 講座の取組

リーダー育成②交流事業による市民の融和③一館一目標運動④専門部結成の研究を掲げている。特に、交流事業は合併時より旧三市町毎に年三回、親睦・健康・融和を目的にグラウンドゴルフ大会の開催により、市内のグラウンドゴルフ競技者が増えつつあった。また、町民が集い楽しんでいた

豊後高田市の香々地公民館の組織には二十九の自治区、三十の自治公民館がある。平成十四年に香々地自治公民館連絡協議会が結成された。各自治公民館の活動促進を基本方針とし、重点目標①



出前講座 健康体操の実技



香々地フェスタ青少年の家での三世代グラウンドゴルフ大会

イベント等が合併によって消滅していく中で、自治公連が中心的役割となり平成十八年に地域おこし連絡協議会を組織し、「香々地フェスタin青少年の家」を実施、毎年十一月の開催を継続している。香々地公民館では、子ども対象のわくわく体験活動や成人講座等の事業を実施しているが、一極集中であるがためか来館者が限定されている。講座の底辺を広げるためにだれもが気軽に参加しやすい生活に密着した食育・健康・福祉等を取り入れた講座を自治公民館で出前講座として実施して、高齢者に喜ばれている。

香々地公民館 塩崎 裕子

## わがまち公民館

## 公民館の特色ある活動を紹介

### 佐伯市本匠地区公民館 職員が講師という 考え方も

本館では年に一度、「公民館まつり」を開催し、文化協会活動や公民館教室の成果を発表している。高齢化などにより年々出場者が減少し

県南の静かな山間にある本匠の公民館では、今年度より一風変わった取組を始めた。「こども落語研究会」である。メンバーは小学二年生から六年生までの六名。月に一回から二回公民館に集まって落語の練習をする。



公民館まつり

佐伯市本匠振興局 品矢 光賢



パソコン教室

### 姫島村中央公民館 村民活力の発信源

姫島村中央公民館は、自然豊かな海に囲まれている離島「姫島」に位置している。平成十九年七月には、姫島の黒曜石産地が国指定天然記念物となり、また毎年五月、十月頃には渡り蝶

姫島の中央公民館は、常駐の職員は居らず、社会教育課の職員が兼務する形で成り立っている。そのため、常時館内が活気に溢れているという状況ではないが、講座やグループ活動の拠点として活躍している。公民館講座として、書道、料理、茶道と三つの講座を開講し、



親子ふれあい体験福祉教室



家庭教育わんぱくひろば

自主講座として、カラオケ、舞踊など積極的に利用している。読み聞かせグループ「ひだまり」もボランティア活動の場として活用し、その他にも、家庭教育支援グループ「わんぱくクラブ」が活動の拠点とするなど、地域住民、ボランティアグループの積極的な活動・協力により、地域活力の中心として存在している。人材不足という問題点はあるが、今後も地域と一体となり、村民活力の発信源となりうるように努力していきたい。

姫島村教育委員会 木原 康博





## 第60回九州地区公民館研究大会 「大分大会」開催のお知らせ

九州各県の公民館関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域社会の教育の協働に基づいた人づくり、地域づくりの拠点としての公民館活動のあり方について研究協議を行います。

公民館活動に関わる者の「つながり」を深めるうえでも、多くの皆様方の積極的な参加をお願いします。

### 大会日程案

期日 平成21年8月27日(木)～28日(金)

会場 全体会会場 別府ビーコンプラザ「フィルハーモニアホール」  
分科会会場 別府ビーコンプラザ  
大分県立生涯教育センター  
別府市中央公民館

日程 1日目(分科会) 8月27日(木)各分科会会場  
第1分科会 公民館の管理運営  
第2分科会 地域教育力の向上(シンポジウム)  
第3分科会 家庭教育  
第4分科会 成人教育  
第5分科会 地域づくり(フィールドワーク)  
第6分科会 人権教育  
第7分科会 自治公民館活動

2日目(全体会) 8月28日(金)  
別府ビーコンプラザ「フィルハーモニアホール」  
記念講演 講師 千葉大学教育学部教授  
明石 要一氏



あかし よういち  
明石 要一氏 プロフィール

1948年1月17日生まれ、大分県姫島村出身。専門は社会教育学。子ども文化の育成の研究について精力的に取り組む。また、公民館等で実施される「通学合宿活動」の支援にも力を注いでいる。

#### 【役職】

文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員  
文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会臨時委員  
国立教育政策研究所通学合宿活動研究委員会委員 など

#### 【著書】

「子ども放課後改革がなぜ必要か」(明治図書)  
「データが語る平成の子どもの気質」(明治図書)  
「新地域社会学校論」(ぎょうせい) など

### 編集後記

23号は、編集委員の方をはじめ執筆者の方の御協力のおかげにより、例年より3ヶ月早く発行することができました。

「公民館の役割の見直し」と言われながらもなかなか方向性を決めかねていることのもどかしさを感じます。公民館活動では、仲間と一緒に学ぶことで、連帯感が生まれます。このエネルギーを地域へ100%還元するために、今こそ、公民館のコーディネート機能を発揮しようではありませんか。

### 「ひろば」第23号編集委員

宇佐市教育委員会生涯学習課	係長	弘山 真澄
杵築市山香中央公民館	係長	藤本 寿美
津久見市教育委員会生涯学習課	主幹	山下 俊雄
佐伯市教育委員会生涯学習課	副主幹	吉岡 健児
豊後大野市教育委員会朝地支局	副主幹	野中 浩一
玖珠町中央公民館	係長	吉野弥也子